

凡例

- (一) 阮籍「詠懷詩」の底本を陳伯君校注『阮籍集校注』とする。また全八十二首ある「詠懷詩」のうち、『文選』に十七首が採られており、『文選』も合わせて参照した。
- (二) 字体は書名、作品名常用字とする。提示する引用文のみ原典本文の字体に準ずる。ただし、梅堯臣、『文心雕龍』は正字で表記した。
- (三) 引用する詩作に関しては、書き下しを付したものはルビをふった。漢字が続く場合、熟語でないものに関しては半角スペースで間を空けた。
- (四) 詩作でない文章に関しては、適宜ルビをふった。
- (五) 本文中に書き下しのみを引いたものは、注に原文を示す。
- (六) 現代中国語を引用の際、注に原文を示し、本文は直接日本語訳で引く。
- (七) 原典に見える難しい語彙に対する解釈は、「」の中に筆者注を加えた。補足内容は（）に括りいれた。
- (八) 注は、章ごとにつけ、一、二、三の順番とする。